



# 図書館だより 5月号

開陽高校定時制図書館

新緑が鮮やかな季節になりました。

新たな環境や、進路選択についての悩み等で体調を崩しやすい時期でもあります。

健康管理に関する本や新着図書、雑誌や学習漫画もあります。

気分転換も兼ねて、気軽に図書館に寄ってください。

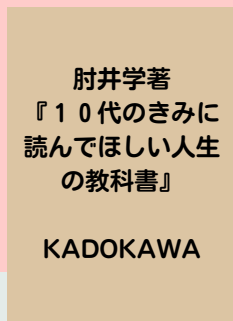
探している本のこと、他にどんなことでも気軽に相談してくださいね。

図書館の「進路・資格」のコーナーには就職・進学の資料や勉強法・文章の書き方に関する本なども揃っていますよ。

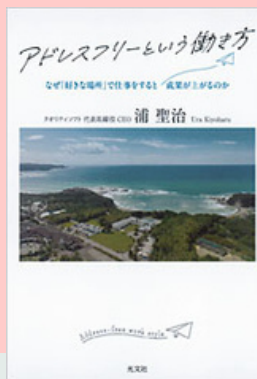
## 今月の新着図書



岩川拓夫著、東雲のか/絵  
『かごしま維新伝心』  
南方新社  
南日本新聞で人気の長期連載（2年9ヶ月）記事が本になりました。幕末の薩摩をイラストと共に楽しく学べる本です。



肘井学著  
『10代に読んでほしい人生の教科書』  
KADOKAWA  
スタディサプリ英語の人気講師による初エッセイ。悩みを抱える10代に向けた、令和を豊かに生きるための道しるべとなる1冊です。



浦聖治著  
『アドレスフリーという働き方』  
光文社  
「なぜ好きな場所で仕事をする」と成果が上がるのか？好きな場所は社内外・海外等あらゆる場所が含まれ、時間・役職・固定観念にさえ縛られない自由な働き方が可能になる。



地球の歩き方編集室（編）  
『地球の歩き方宇宙兄弟』  
人気漫画「宇宙兄弟」の舞台をめくりながら、その世界観と宇宙旅行を楽しむためのガイドブック。日米はもちろん、月やISS（国際宇宙ステーション）までも。

ヨシタケシンスケ著  
『おしごとそうだんセンター』

集英社

地球に不時着した宇宙人がやってきたのはちょっと風変わりな職業安定所、宇宙人はこの星で生きていくこと、働くことの意味について考えはじめる。



蔵本貴文著  
『はじめての虚数』  
ベレ出版  
2乗するとマイナス1になる数i（虚数）について、実際に半導体エンジニアとして虚数を使っている著者が「どのように使われているか易しく解説しています。」



加藤俊徳著  
『片づけ脳』  
自由国民社  
片づけられないのは脳のせい？手軽にできる8つの「脳番地トレーニング」で片づけられるようになるかも。



はまのゆか作  
『泣いたりしないで』  
幻冬舎  
福山雅治さんの曲の歌詞をもとに作られた絵本です。大切な存在を失った猫と傷ついた小鳥の、友情の物語。



岡本達彦著  
『不安がなくなるとモノが売れる』  
綜合法令出版  
人がモノを購入する際には「安心」を最重視するが、売れないモノに限って説明不足・不安をかき立てる説明が多く、安心感の得られる使い方・買い方・保証の具体的な事例を紹介する。

# 今月の新着図書（続き）



ヘレン・ピルチャー著  
『生命の時間図鑑』

グラフィック社

寿命・睡眠・排泄・身長・進化等、生物によって様々に異なる時間の流れを豊富な写真とともに分かりやすく図解した本です。



NASU Co., Ltd. 著  
『デザイナーが最初の3年間で身につけるチカラ』  
ソシム(株)

新入社員がデザイン会社で直面するであろう専門スキル・人間関係やマナー等の問題と解決策について学ぶ本です。

イラスト/るるてあ  
監修/金田一秀穂

『コウペンちゃんと学ぶ日本の美しい言葉』

KADOKAWA

日本で古くから使われてきた美しい言葉を、癒やしキャラと一緒にゆったりと楽しめる本、言葉にまつわるエピソードから使い方で。



田内学著  
『きみのお金は誰のため』  
東洋経済新報社

所得・投資・貯金だけじゃない、人生も社会も豊かにする（小説版）  
お金の授業。開講！



知念実希人著  
『放課後ミステリクラブ 1』  
ライツ社

「夜の学校、プールに放たれた金魚。誰が何のために？」  
児童書で史上初、本屋大賞ノミネート、大人のミステリ小説と同じ手法で書かれた本格派ミステリです。



宮島未奈著  
『鳴瀬は信じた道をいく』  
新潮社

唯一無二の主人公、再び。その前途、誰にも予測不能！本屋大賞受賞作の続編です。



森見登美彦著  
『シャーロック・ホームズの凱旋』  
中央公論新社

舞台はヴィクトリア朝の京都、洛中洛外に名を轟かせた名探偵ホームズがまさかの大スランプに、ホームズとワトソンはこの摩訶不思議な迷宮を抜け出せるか。

詳しい内容はブクログ  
「開陽高校図書館の本棚」で  
見てくださいね。  
2023年度以降の新着図書を見ることができます。



ブクログの  
インストール  
はこちらから

